

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	えがおのサロン（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～	令和7年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和7年3月15日		～	令和7年3月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの自主性をはぐくむ支援を行っている。	こどもたちが活動内容を話し合う「子ども会議」を定期的 に開催し、こどものたちが活動内容や役割を話し合ったり、い ろいろなアイデアを出し合ったりすることによって主性を 伸ばすようにしている。	「子ども会議」の議事録や活動計画書、報告書なども書くよ うにし、読み書き能力の向上も図ってきたい。
2	視覚支援や環境設定により時間や活動場所を分かりやすくす るため構造化を取り入れている。	必要なものがすぐに取り出せるように棚やロッカーで整理整 頓された環境になっています。また、本日の予定や伝達事項 をホワイトボードに掲示し、時間や活動場所がわかりやす くなるよう工夫している。	様々な活動を工夫しているため備品等が増えてしまったの で、断捨離やリニューアルを行っていきます。また、ホワイ トボードは情報過多にならないよう整理していきます。
3	個別活動と集団活動を組み合わせたり、異年齢児との交流や 地域との交流を取り入れた支援計画を策定している。	活動場面の目標を職員が共通理解して支援を行い、事前に打 ち合わせを行ってからサービス提供ができるよう努めてい る。 系列の事業所との交流を積極的に行い、異年齢のこどもと関 わる場面を意識的に設定している。	こどもの成長に応じてアセスメントし、調整や計画を行って いき、実態に合った支援ができるよう活動への参加のしかた を検討する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務の効率化や働き方改革の必要性を感じる。	報酬改定やガイドライン等の改定によりやるべきこと、事務 的な業務が増え、こどもとかかわる時間や心の余裕が減って きている。	さらなる業務のデジタル化や、放課後等デイサービスに特化 した業務用ソフトの導入を検討している。
2	保護者との交流や保護者会の参加が低迷している。	コロナ禍以降、保護者との交流や行事への参加が減ってい る。 保護者会に出席する方がいつも同じメンバーになっている。	参加者が増えるよう協力を呼び掛けたり、参加してみたくな るような企画について役員と相談していく。 以前実施していた「かがやき集会」を踏まえ、交流の機会を 検討する。
3			